

人間関係論

【Human Relations】

担当責任者 講師(人間関係論) 種田 博之

ねらい

私たちは、日々の生活のなかで、ごく自然に他者と何らかの関係をもち、コミュニケーションをはかっています。そして、そのことをことさら意識することはありません。また、他者との適切な関係が取ることのできない人、例えば「ストーカー」や「キレる人」などに対して、「変わり者」というレッテルを貼ってしまいがちです。しかし、他者と関係を結ぶことができるということはあたりまえのことで、「ストーカー」などのような人たちは本当に「変わり者」なのでしょう吗？ 私たちは他者とどのようにして関係をつくってきているのでしょうか？ その関係はどのような「関係」なのでしょう吗？ その関係のなかで、「私」はどのような行為をしてきているのでしょうか？ あるいは、どのような時に、他者と意思疎通が取れていると私たちは感じるのでしょうか？ 他者と分かり合えた時、うれしかったり、楽しいと感じたりするのはなぜなのでしょう吗？ 逆に、分かり合えなかった時、怒りや悲しみを感じるのはなぜなのでしょう吗？ この講義は、上記の問いなどに応えるかたちで、人間関係ないしコミュニケーションの仕組み・成り立ちについて、具体例を通して、解説していきます。

学修目標

1. 人間の「行為」について説明できる。(II-4, VI-1)
2. 自己がいかにして「自己」となるのかについて説明できる。(II-4, VI-1)
3. 自己と他者との関係一人間関係がどのようにして成り立っているのかについて説明できる。(II-4, VI-1, VI-3, VI-5)
4. コミュニケーションの仕組みと成り立ちについて説明できる。(II-4, VI-1)

事前事後学習の方法

1. 参考文献リストに挙示した文献を事前に予習しておくこと。
2. 配布された資料を熟読して講義内容の復習をすること。実習ならびにグループ課題においては各レポートを作成すること。

成績評価方法・基準

1. 小テスト(約3割)、実習レポート(約3割)、グループ課題(約3割)の結果をもとに、小レポートの内容(約1割)を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

とくに指定しない。

○参考書

適宜、指示する。

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目			担 当 者
				大項目	中項目	小項目	
R3.4.9	金	3・4	オリエンテーション	A	2		種田 博之
4.12	月	1・2	講義:人間関係論とはどのような学問か?	B	4		〃
4.16	金	3~5	実習:私たちはどのように見られているか? 実習レポート提出	C	5		〃
4.19	月	1・2	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか? ①	〃	〃		〃
4.21	水	3~5	実習:私たちはメッセージをどのように読み取っているのか? 実習レポート提出	A,C	2・4,5		〃
4.26	月	1・2	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか? ②	C	5		〃
5.7	金	3・4	講義:「意味」の希求	B	4		〃
5.14	〃	3~5	実習:説明するということはどういうことか? 実習レポート提出	A,C	2・4,5		〃
5.21	〃	3・4	講義:私はいかにして「私」となっているか?①	〃	〃		〃
5.24	月	1・2	講義:私はいかにして「私」となっているか?② 理解度チェックのための小テストと小レポート	〃	〃		〃
6.8	火	3・4	講義:コミュニケーションをめぐる誤解	〃	4,5		〃
6.10	木	5~8	実習:演 技 実習レポート提出	〃	〃		〃
6.28	月	5・6	講義:コミュニケーションプロセスモデル	〃	〃		〃
7.2	金	〃	講義:コミュニケーションにおけるコンテキスト	〃	〃		〃
7.6	火	3・4	講義:コミュニケーションにおけるノイズ	〃	〃		〃
7.19	月	1・2	講義:まとめ 理解度チェックのための小テストと小レポート	B	4		〃
9.2	木	5~7	グループワーク報告会 グループワークレポート提出	A	2		〃